

「植林訪中」報告

☆4月19日～20日
(九台市・伊通県編)

写真・文 水戸雄二

(前号の続き) 交流では2年生(テレサ・テンの「時の流れに身をまかせ」)と3年生(濱崎あゆみの「?」)が上手に披露。私達も「荒城の月」等をフルート伴奏で披露した。懇談ではお互いの自己紹介から始まり上手な日文と通じない中文のやりとりで、震災後の状況や好きな中国料理は何かなど、心温まる懇談は予定時間をオーバー。突然の吹雪の中、「再見」で見送られた。

この後、バスで九台市へ移動。夜は宿泊ホテル「浴楽賓館」での九台市林業局主催歓迎宴に(写真右上)。郝(かく)景春・副局長らの他、おなじみの省対外友好協会の修立征・部長、林業局の随(ずい)希英・副主任らも出席、随さんの「昂(すばる)」も飛び出し、大いに盛り上がった。さてこのホテルはシャワーしかなく、20円で併設の日本風の大浴場に入れる。貴重な体験だったが、中国でもパンツ無しは意外だった。あかすりも20円。

19日、恒例の“自由朝市場見学”。活気ある光景はいずれも同じ庶民の台所だ(右下)。朝食後、上河湾林場(李・場長)へ。約30人程の現地作業員とともに障子松の植林を行う(下右)。日陰の一部に残雪も見える。昨年の中学生との共同作業と異なり、石も多い土だが作業はスムーズに進んだ。「熱烈歓迎日本友人」(右中)のサインに迎えられ、昼食は林場の食堂で。米や野菜、果物など地産でおいしい。52度の招待用白酒も林場産。昼から乾杯で意気盛ん。施設には植林用の障子松の苗木が育てられていた。午後は市内にある古びた農家が並ぶ小韓村。ここで無形文化財として保護されている満州族シャーマンの儀式を伝える第11代サマンの石宋多さん宅を訪問(下左)、説明を受ける。なげしには家系図の納められた長木箱が収まっていた。夕方、九台駅前の超市(スーパー)で買い物。日本式にレジ清算だ。

20日、伊通満族自治県の満州族博物館へ。満州族、清王朝の成立、歴史、文化、生活など充実した展示だった。満州族の衣装を着た美人の案内が華を添える(下中)。パンフなどの資料、売店がなく今後、充実させていくようだ。帰途のバスで「廬山大地震」の報が入り驚く。TVは終日、このニュースだった。長春西駅から高速鉄道でハルビン西駅へ。いずれも広大かつ近代的施設でため息が出るほど。チケットも自動化。ちなみに長春・ハルビン間は二等座で73.5元でした。夜、最後の夕食。カエル料理も出たが大いに盛り上がり、皆さん“大満足の交流でした”と語らい、翌21日帰国した。

日中平和条約締結35周年記念
「平山郁夫シルクロード美術館と
満蒙開拓平和記念館を訪ねる旅」

県協会では、4月末開館した「満蒙開拓平和記念館」と要望の多かった「シルクロード美術館」及び奈良井宿や松本城、善光寺などを巡る旅行を企画。7月24日(水)8時半出発、26日(金)20時着(いずれも仙台駅から専用バス)。参加費用は参加人数で多少変わりますが、全食込みで概ね5万6千円を予定。申し込み締め切りは6月末。お問い合わせは、河北トラベル☎022-211-6960まで。



ご案内 「吉林省緑化事業写真展」

7月15日(月)10時半にオープニング。21日(日)まで。エル・パーク仙台(三越定禅寺通りビル)の5F展示ギャラリー。今回行われた植林訪中の模様を参加者が持ち寄り、展示します。ぜひご覧ください。

8月下旬に「日中友好植林調査」

4月に実施した植林地の生育状況、活着率調査のために行きます。併せて大連市内、長春市内の観光と九台市での友好交流を企画しております。8月23日から27日まで。詳細は次号に掲載いたします。

関 連
お知らせ